

町の発展にご尽力感謝します

平成16年度 羽幌町 功績者・善行者 表彰

羽幌町表彰条例に基づく表彰審議会で平成16年度の受章者が決定し
11月9日、サンセットプラザはぼろで表彰式が行われました

功 績 者

■ 自治 / 議会議員



熊谷 小敏さん (60歳)

平成3年5月、町議会議員に就任、以来連続3期12年の長きに渡り議会活動に参画され、誠実且つ清廉潔白な人柄から、平成7年5月から平成11年4月までの4年間は総務常任委員会委員長、平成10年3月から平成11年4月までの1年間は行政改革調査特別委員会委員長、そして平成11年5月から平成15年4月までの4年間は第17代町議会議長を務められました。

特に議長在任中における一般廃棄物処理施設や下水道羽幌浄化センターの建設事業などではその豊富な経験と優れた手腕を発揮し議会の円滑なる運営に大きく貢献され本町の発展と地方自治の振興に多大な尽力をされました。

また、多忙な旅館業を営む傍ら、昭和51年からは羽幌町商工会理事や羽幌町観光協会役員などを歴任され、昭和61年4月から平成4年3月までの6年間は羽幌町観光協会副会長として、組織強化や観光イベントの育成に尽力され、地方自治のみならず羽幌町の観光振興の発展に寄与されました。

■ 自治 / 行政委員 (農業委員)



清水 省一さん (65歳)

羽幌町農業委員会委員として、昭和56年より平成14年までの21年間にわたり、農民の代表として地域農業の体質強化や、農業振興のため大いに尽力されました。この間、農業委員会会長職務代理者として3年間に渡り会長を補佐し、本人の性格でもある温厚で誠実であり、清廉潔白な人柄から地域の良き相談役として、農業委員会の難問題にも積極的に進言するとともに運営等発展にも尽力されました。

このような功績が認められ、平成11年には、農地法の適正処理、農業委員として農業振興の推進に努め、本道の農業発展に寄与した者に与えられる北海道農業会議永年勤続表彰を受賞し、また、土地改良区総代として、昭和61年から平成10年までの12年間努められるなど幅広い活動を続けられ、本町農業の発展に貢献されました功績は誠に顕著なものがあります。

功 績 者

■ 自治 / 町職員



遠藤 武夫さん (65歳)

昭和38年8月から平成10年12月まで、35年4カ月にわたり、羽幌町事務吏員として職務に精励され、この間、財政課長、交流センター準備室長、交流センター室長などの要職を歴任し、町の台所とも言われる財政では、豊富な経験と卓越した手腕を発揮し、町財政の健全運営に多大な貢献をされ、更に数多くの行政課題にも積極的に取り組まれ解決に導かれました。

特に、温泉を活用した地域間交流の拠点となるサンセットプラザ立ち上げに至る責任者として優れた手腕を発揮され、初代交流センター室長としてサンセットプラザを地域住民の憩いの場とするのはもとより、観光拠点づくりの為の礎を築かれました。

また、温厚誠実にして優れた識見を持ち、職員をはじめ住民の信望も厚く、平成10年12月から平成13年3月まで収入役に就任され、会計事務の適正化、健全財政の維持に意を注がれました。

更に平成13年4月から教育長に就任され、天売小中学校の改修をはじめ学校運営の健全化や公民館運営、更には青少年の健全育成やスポーツの普及振興を積極的に推進され、教育の向上に尽力されました。

■ 自治 / 消防職員



小川 幸忠さん (68歳)

昭和32年羽幌町消防本部に消防士として採用されて以来38年有余にわたり地域及び北留萌消防組合管内住民の生命、財産の保全に貢献されました。

人格高潔にして、常に旺盛なる責任感をもって研鑽修養を重ね卓越した識見により、平成2年12月に北留萌消防組合消防署長に就任され、更に平成7年4月には第5代北留萌消防組合消防長に就任、羽幌町は勿論のこと組合管内の消防力促進と救急業務の高度化推進や防火思想の普及に全力を傾注されました。

また、職員の規律厳正と教育訓練の育成指導にあたり、その治安維持に尽力された功績は誠に多大であり、職員及び団員は勿論のこと地域住民の認めるところであります。

善 行 者

■ 町の公益のために多額の寄附をされました

- 眞鍋 寛さん (南大通1)
- 舟見 正明さん (南3の3)
- 水上 潔さん (南6の5)
- 本間 雄二さん (札幌市)
- 株式会社勝山組 (留萌市)

平成16年度 羽幌町文化賞



●弓庭 登さん (77歳)

平成2年から羽幌町文化連盟の会長に就任。郷土芸能の保存継承や地域住民の芸術文化に対する関心を高めることを目指して、優れた舞台芸術・音楽などの鑑賞や著名人の講演等の機会を提供するとともに、住民の文化活動の定着を図るため、各種芸能発表や作品展示の機会を積極的に推進してきました。

平成15年には羽幌町文化連盟と羽幌町公民館サークル連絡協議会の統一を図り、新団体羽幌町文化協会を創設し初代会長として一層の地方文化の創造と発展に果たされた功績は大なるものがあります。

羽幌町体育協会スポーツ賞

【体育協会スポーツ功労賞】

●松森 克彦さん (44歳)

恵まれた素質と身体能力、さらには持前のねばり強さをもって積極的に各種団体において活躍すると共に団体の運営にも率先してあたり、多くの団体活動の原動力となっています。

また、羽幌町体育指導員委員としてもスポーツ全般に指導力を発揮し、本町スポーツ振興に努力され、その功績は高く評価されています。

【体育協会スポーツ振興賞】

●鎌田 武夫さん (58歳)

昭和53年、ソフトボール連盟創設以来、26年間の長きにわたりソフトボール(全林野)の選手として活躍し、その間、全日本ソフトボール連盟公認審判員の資格を取得し、審判員として活躍。また、競技部長としても連盟の運営に努力され、本町ソフトボールの普及発展に貢献された功績は高く評価されています。

【体育協会スポーツ奨励賞】

●武田 未波さん (18歳)

中学生時代からアルペンスキー競技において抜群の成績を収め、全日本スキー連盟の強化選手として努力し、平成16年3月に開催された全国高等学校選抜スキー大会回転で優勝の栄に輝きました。

●羽幌剣道連盟少年部中学生チーム

チームは、平成16年度に開催された各種剣道大会において優勝の栄に輝きました。

●渋谷 基希さん (14歳)

平成16年度に開催された各種剣道の大会において優秀な成績を収めました。

羽幌町文化協会賞

【文化協会功労賞】

●橘 利明さん (71歳)

昭和48年、羽幌オロロン太鼓の会に入会以来、後継者の育成に努め、特にジュニアの会(現オロロン太鼓ジュニア)の設立と育成強化に努めるとともに、創設以来今日に至るまで各種太鼓事業の企画運営に最も中心的な役割を果たすなど、会の運営と発展に尽力され、本町の文化振興に貢献されました。

●伊藤 一子さん (55歳)

昭和55年、着物着付サークル結成以来、日本の伝統である着物の着付を多くの方に指導され、「自分一人で着物が着れるようになった喜び」を与えることを目的に、自らも前向きに技術の向上に取り組みられ、日本の伝統である着物を通じて地域文化の発展に尽力され、本町の文化振興に貢献されました。

【文化協会奨励賞】

●羽幌社交ダンスクラブ

本会は昭和62年11月結成以来、長きにわたり活動を継続され、社交ダンスの普及を目的に初心者講習会の開催、羽幌高等学校教養講座での指導を行うとともに、地域貢献活動の一環として歳末助け合いダンスパーティーを開催し、羽幌町社会福祉協議会への寄付を行っています。

また、会員自らもダンスの全道大会などで優秀な成績を収めるなど、社交ダンスを通じて地域文化の発展に尽力され、本町の文化振興に貢献されました。